

あなたにとって、**アートへの情熱**とは？

美術館活動の柱のひとつは作品の収集と保存です。日本の美術館黎明期は、実業家の情熱によって作られたコレクションを核として発展してきました。「作品を集める＝コレクションをつくる」とはどのようなことなのでしょう。この塾シリーズでは、コレクションを入口に、アートにかかわる個人や企業の情熱を伝えます。

～ シリーズ第1回 ～

現代アート収集家と美術館。それぞれがコレクションをつくる意味を語りあう。

上田夫妻コレクション

2010年9月24日(金)18:30開場 19:00スタート **ご招待** 要事前申込

会場: 横浜美術館アートギャラリー

出演: 上田國昭(賛美小舎主宰)、天野太郎(横浜美術館 主席学芸員)

主催: 横浜美術館塾

終了いたしました

シリーズ第1回目の講座には、現代アートコレクターの上田國昭さんをお招きして、横浜美術館主席学芸員が‘上田夫妻コレクション’の収集道についてお話をうかがいます。

ともに都立高校の教師だった上田國昭・克子夫妻がささやかな現代アートのコレクションを始めたのは40歳後半から。都内の画廊をめぐり、その当時はほとんど注目されていなかった新人作家の作品を、自分たちの審美眼だけを信じてコレクションをつくり始めました。近年はその重要なコレクションを国公立美術館に寄贈して多くの人々に彼らの存在を知られることとなりました。

横浜美術館も、上田コレクションから大規模な寄贈のお申し出をいただいております。これを機に、皆さまに上田夫妻が愛してやまないコレクションをご紹介しますと同時に、互いのコレクションのあり方や意味について熱く語り合ってみようと思います。



◆先着順で合計50名様をご招待します。(受付中)

【申込方法】eメールでお申込みください。 yama-jyuku@yaf.or.jp

- 「本文」に、参加希望人数(4名様まで)、代表申込者のお名前、連絡先の電話番号を記入。
- 「件名」に、「上田夫妻コレクション参加希望」と記入。

【お問合せ】 **045-221-0304** 横浜美術館塾 10:00～18:00 木曜休館

対談者プロフィール

上田國昭 [うえだ・くにあき]

賛美小舎主宰。ともに都立高校の教師であった妻と現代アートのコレクションを築いて20年以上。現代美術家、石原友明氏の作品がコレクションの中核を成す。これまでに350点以上を収集し、その200点以上を東京国立近代美術館をはじめとする国公立美術館に寄贈。横浜美術館も150点に及ぶ作品の寄贈のお申し出をいただいている。

天野太郎 [あまの・たろう]

横浜美術館主席学芸員。1987年より横浜美術館にて国内外での数々の展覧会企画に携わる。美術評論家連盟所属。主な企画展覧会は、1994年「戦後日本の前衛美術展」、1997年「ルイズ・ブルジョワ展」、2001年「奈良美智展」掲載論文「断片へ」、2004年「現代の写真Ⅲ ノンセクト・ラディカル展」、2009年「金氏徹平展」、2005年第2回横浜トリエンナーレ等。2011年第4回横浜トリエンナーレ担当。

アートへの情熱 今後の予定

～ シリーズ第2回 ～

真のアートコレクターを映し出したドキュメンタリー映画

Herb & Dorothy

2010年10月1日(金)18:30開場 19:00上映スタート **ご招待** 要事前申込

会場: 横浜美術館レクチャーホール

主催: 横浜美術館塾

1960年代からニューヨークで現代アートを蒐集し続けて来た伝説のコレクター、ハーバート&ドロシー・ボーゲル夫妻の生涯を描いたドキュメンタリー映画『ハーブ&ドロシー』が昨年、全米各地の劇場、美術館で上映されて話題になりました。

この映画は、郵便局員と図書館司書というごく普通の所得層の夫妻が、当時は無名だったアーティストたちとの親交を深めながら何千点もの作品を蒐集し、それらをワシントンDCのナショナル・ギャラリーに寄贈しようとする、真のアートコレクターの姿を映し出したドキュメンタリーです。

上映後には、このドキュメンタリー映画をプロデュース・監督した佐々木芽生(ささき・めぐみ)さんが、横浜美術館の館長と主席学芸員と対談いたします。

◆先着順で合計200名様をご招待します。(9月1日受付開始)

【申込方法】eメールでお申込みください。 yama-jyuku@yaf.or.jp

- 「本文」に、参加希望人数(4名様まで)、代表申込者のお名前、連絡先の電話番号を記入。
- 「件名」に、「ハーブ&ドロシー参加希望」と記入。

定員になりましたので、
申込をしめきりました

【お問合せ】 **045-221-0304** 横浜美術館塾 10:00~18:00 木曜休館